
 アース不要
の二重絶縁

ボッシュ株式会社 電動工具事業部

ホームページ : <http://www.bosch.co.jp>
〒150-8360 東京都渋谷区渋谷 3-6-7

コールセンターフリーダイヤル

 **0120-345-762**

(土・日・祝日を除く、午前9:00~午後6:00)

* 携帯電話からお掛けのお客様は、TEL. 03-5485-6161
をご利用ください。コールセンターフリーダイヤルのご利
用はできませんのでご了承ください。



F 016 L81 296 (2016.03)

高圧洗浄機 AQT 33-11 型

 **BOSCH**

取扱説明書

このたびは、弊社高圧洗浄機をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
います。

- ご使用になる前に、この『取扱説明書』をよくお読みになり、正しくお
使いください。
- お読みになった後は、この『取扱説明書』を大切に保管してください。
わからないことが起きたときは、必ず読み返してください。

- 本取扱説明書に記載されている、日本仕様の能力・型番などは、外国語の印刷物とは異なる場合があります。
- 本製品は改良のため、予告なく仕様等を変更する場合があります。
- 製品のカタログ請求、その他ご不明な点がございましたら、お買い求めになった販売店または弊社までお問い合わせください。



目次

●安全上のご注意	
警告表示の区分	2
電動工具全般についての注意事項	2
高圧洗浄機についての注意事項	8
●本製品について	
用途	14
各部の名称	14
仕様	15
標準付属品	18
別売アクセサリ	19
●使い方	
作業前の準備をする	20
ノズルを取り付ける・取り外す	26
作業する	32
●お手入れと保管	
フィルターの清掃	38
長期間使用しないとき、または冬季の保管	39
ノズルの清掃	40
収納	41
●困ったときは	
故障かな？と思ったら	42
修理を依頼するときは	44

ご安全
注上
意の

つ本
製
い品
てに

使
い
方



保
お
手
入
れ
と
管

困
っ
た
と
き
は

安全上のご注意

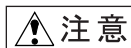
- ◆ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、次に述べる『安全上のご注意』を必ず守ってください。
- ◆ ご使用前に、この『安全上のご注意』すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- ◆ お読みになった後は、ご使用になる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ◆ 他の人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

警告表示の区分


ご使用上の注意事項は  警告 と  注意 に区分していますが、それぞれ次の意味を表わします。



- ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。



- ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、 注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

電動工具全般についての注意事項

ここでは、電動工具全般の『安全上のご注意』について説明します。今回お買い求めいただいた高圧洗浄機には、当てはまらない項目も含まれています。

警告

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。

ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。



2. 作業場の周囲状況も考慮してください。

- ◆ 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
- ◆ 作業場は十分に明るくしてください。
- ◆ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。



3. 感電に注意してください。

- ◆ 電動工具を使用中、身体をアースされているものに接触させないようにしてください。
(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)

4. 子供を近づけないでください。

- ◆ 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
- ◆ 作業員以外、作業場へ近づけないでください。

5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。

- ◆ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。

6. 無理して使用しないでください。

- ◆ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
- ◆ モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。

7. 作業に合った電動工具を使用してください。

- ◆ 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行う作業には使用しないでください。
- ◆ 指定された用途以外に使用しないでください。

ご安全
注意の

8. きちんとした服装で作業してください。

- ◆ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
- ◆ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
- ◆ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。



9. 保護めがねを使用してください。

- ◆ 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

10. 防音保護具を着用してください。

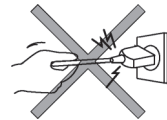
- ◆ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。

11. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。

- ◆ 電動工具に集じん機などが接続できる場合には、これらの装置に確実に接続し、正しく使用してください。

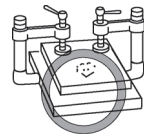
12. コードを乱暴に扱わないでください。

- ◆ コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
- ◆ コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。



13. 加工するものをしっかりと固定してください。

- ◆ 加工するものを固定するために、クランプや万力を使用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。



14. 無理な姿勢で作業をしないでください。

- ◆ 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。

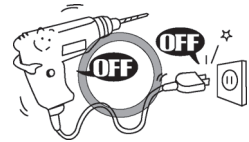


15. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。

- ◆ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- ◆ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- ◆ コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。
- ◆ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- ◆ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースなどが付かないようにしてください。

16. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ◆ 使用しない、または修理する場合。
- ◆ 刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合。
- ◆ その他危険が予想される場合。



17. 調節キーやレンチなどは、必ず取り外してください。

- ◆ 電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取り外してあることを確認してください。

18. 不意な始動は避けてください。

- ◆ 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- ◆ 電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。

19. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- ◆ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

20. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- ◆ 電動工具を使用する場合は、取り扱い方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- ◆ 常識を働かせてください。
- ◆ 疲れている場合は、使用しないでください。



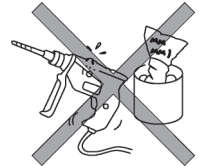
21. 損傷した部品がないか点検してください。

- ◆ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ◆ 可動部分の位置調整、および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響を及ぼすすべての個所に異常がないか確認してください。
- ◆ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。

取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。

スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。

- ◆ スイッチで始動、および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。



22. 異常や故障時には、直ちに使用を中止し、すぐに電源プラグを電源コンセントから抜いてお買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターに、点検、修理を依頼してください。

そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。

<異常・故障例>

- ・電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- ・電源コードに深いキズや変形がある。
- ・コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
- ・焦げくさい臭いがする。
- ・ビリビリと電気を感じる。
- ・スイッチを入れても動かない。 など

23. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- ◆ この取扱説明書、およびボッシュ電動工具カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

24. 電動工具の修理は、専門店で依頼してください。

- ◆ この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ◆ 修理は、必ずお買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターにお申し付けください。

修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

ご安全
注意の

この取扱説明書は、大切に保管してください。

高圧洗浄機についての注意事項

電動工具全般の『安全上のご注意』について、前項ではご説明しました。ここでは、高圧洗浄機をお使いになるうえで、さらに守っていただきたい注意事項についてご説明します。

ご安全
注意の



警告

1. 高圧洗浄機を使用する住宅等の施設における電気設備は、国際規格 IEC60364-1 に適合していなければなりません。電気設備の施工は、電気工事士の資格のある人に依頼してください。
 - ◆ 不適切な電気設備で使用すると、感電や事故の原因になります。
2. 必ず銘板に表示してある電圧の電源で使用してください。
 - ◆ 表示を超える電圧で使用すると、過負荷による発熱、火災の原因となります。
3. 取扱説明書に記載されている用途以外、または能力以上の作業には、絶対に使用しないでください。
 - ◆ 使用すると、発煙・発火の原因になります。
4. 取扱説明書または弊社カタログに記載されているアクセサリー（高圧ホース・ノズルなど）以外は使用しないでください。
 - ◆ 指定外のアクセサリーを装着すると、本体に支障をきたすばかりでなく、発煙・発火の原因になります。
5. 作業に適した服装で作業してください。また、目を保護するため保護めがねなどを着用してください。
 - ◆ 適した服装で作業しないと、水流で物の破片が飛んだときなど、けがの原因になります。
6. 定格連続使用時間は約1時間です。
1時間使用後は電源を切り、本体の熱が下がるまで1時間以上本体を休ませてください。
 - ◆ 長時間の連続使用は、本体の過熱や早期故障の原因となります。
7. 子供や操作の知識がない人には、使用させないでください。
 - ◆ けがや事故の原因になります。

8. 使用する前に、近くに人や動物がいないことを必ず確認してください。また、使用中は人を近づけないでください。
 - ◆ ノズルからは高圧水が噴射するため、保護服や保護めがねを着用していない人や動物に当たるとけがの原因になります。
9. 自分自身や他の人の衣服や履物を高圧水で洗浄しないでください。
 - ◆ けがの原因となります。
10. 使用する前に、近くに電気機器や機械などがいないことを必ず確認してください。
 - ◆ 通電中の電気機器や機械に水などがかかると、感電や破損の原因になります。
 - ◆ ノズルからは高圧水が噴射するため、破損の原因になります。
11. 定格15A以上の電源コンセントを単独で使用してください。
 - ◆ 複数電源を同じ電源コンセントで使用すると、ブレーカーが落ちる恐れがあります。
12. 「電源スイッチ」が“切”になっていることを確認してから電源プラグを電源コンセントに差し込んでください。
 - ◆ 「電源スイッチ」が“入”になっていると、電源コンセントに差し込んだと同時に始動し、けがの原因となります。
13. 本体が破損しているときは、絶対に使用しないでください。
 - ◆ 使用すると、事故の原因になります。
14. 破損した電源コードは使用しないでください。
 - ◆ 破損したコードを使用すると、感電の恐れがあります。また、事故の原因にもなります。
15. 可燃性液体や、酸性、アルカリ性洗剤、農薬、消毒液などの不適当な液体は使用しないでください。
 - ◆ 故障や事故の原因になります。
16. 必ず指定の洗浄剤を使用してください。洗浄剤は、洗浄剤の説明に記載されている使用方法に従って、正しくご使用ください。
 - ◆ 使用方法を守らないと、故障や事故の原因になります。
17. 高圧洗浄機から出る水を飲まないでください。
 - ◆ 飲むと健康を害す恐れがあります。

18. 本体や電源コード、電源コンセントに水をかけたりしないでください。
◆ ぬれると感電の恐れがあります。
19. ぬれた手で電源プラグや電源コンセントに触らないでください。
◆ ぬれた手で触ると、感電の恐れがあります。
20. 高圧水を噴射するとガンに反動があります。作業中に振り回されないよう、ガンとランスを両手で確実に保持してください。
◆ 確実に保持しないと、けがや事故の原因になります。
21. 足元をしっかりとさせ、安定した体勢でしっかりとガンを握って作業を始めてください。
◆ 噴射開始の瞬間に反動があります。無理な姿勢で作業を始めると、けがや事故の原因になります。
22. 電源コードの上を走ったり、傷つけたりしないでください。
◆ 電源コードが破損すると、感電や事故の原因になります。
23. ガンのレバーを引き込んだまま、固定しないでください。
◆ 思わぬ事故の原因になります。
24. 本体を雨中で使用しないでください。
◆ 本体がぬれていると、感電や故障の原因になります。
25. 使用中に本体の調子が悪くなったり、異常音がしたりしたときは、直ちに「電源スイッチ」を切ってください。使用を中止し、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターに点検・修理を依頼してください。
◆ そのまま使用していると事故の原因になります。
26. 延長コードは15A仕様の規格品を使用してください。また10m以上延長しないでください。
◆ 規格の違う延長コードや、長い延長コードを使用すると、本体の能力低下や故障の原因になります。

27. 延長コードは、屋外用を使用してください。また、水などがかからないようにしてください。

- ◆ 延長コードは、導体公称断面積 2.0mm²のものをお薦めします。屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用しないと、事故の原因になります。

28. 電源コードや延長コードは、完全に伸ばして使用してください。コードリールを使用している場合は、コードを巻いたまま使用しないでください。

- ◆ 伸ばしていないと、発煙・発火の原因になります。

29. 電源コードや延長コードから異臭がしたときは、直ちに使用を中止してください。

- ◆ 異臭がしたまま使用していると、故障や事故の原因になります。

30. 対象物に適した距離で洗浄してください。また、対象物に損傷が生じる恐れがある場合は目立たない場所で試してから使用してください。

ノズルからの距離を離して洗浄し、様子を見ながら近づけて洗浄するなど慎重に作業してください。

- ◆ 近づけすぎた場合、破損などの原因になります。

31. 洗車にはジェットノズルを使用してください。

車の塗装面、タイヤ、タイヤバルブなどを洗浄するときは、ノズル先端から最低30cm以上離して洗浄してください。

- ◆ 接近しすぎると、塗装が剥がれたり、タイヤを損傷したりし、重大事故の原因になる恐れがあります。

タイヤに変色などが生じた場合は、乗車せず専門業者に問い合わせてください。

32. 車の足まわりなどを洗浄するときは、グリース塗布部分やカバー部分などに直接噴射しないでください。

- ◆ グリースなどが流れ落ちたり、損傷や重大事故の原因となる恐れがあります。

33. 下記の場合は、必ず「電源スイッチ」を“切”にし、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。また、電源を切った後、ガンのレバーを握り、ポンプ内の圧力を抜いてください。

- ・作業を中断するとき
- ・点検するとき
- ・付属品を交換するとき
- ・作業を終了するとき

- ◆ 圧力が残っていると、不意の作動でガンから高圧な残水が噴射され、けがの原因になります。
- ◆ 電源を切らないと、ポンプからの水漏れや圧力スイッチの故障による誤作動の原因になります。

34. 5分以上作業を中断するときは、「電源スイッチ」を“切”にし、ガンのレバーを握ってポンプ内の圧力を抜いてください。

- ◆ 電源を切らないと、ポンプからの水漏れや圧力スイッチの故障による誤作動の原因になります。

35. 高圧ホースを傷つけたり、折ったりしないでください。作業を行う前に、高圧ホースはまっすぐに伸ばして使用してください。

- ◆ 作業中に折れているホースを無理に引っ張ると折れ曲がり、高圧ホースが破損する恐れがあります。

36. 摩擦の強い床面や、砂利・石畳などの凹凸がある床面で高圧ホースを引きずらないでください。

- ◆ 高圧ホースの傷や破損の原因になります。

37. 高圧ホースに傷や変形などがある場合は、使用しないでください。

- ◆ 事故の原因になります。



注 意

1. 「電源スイッチ」を“入”にしたまま、放置しないでください。
 - ◆ けがや事故の原因になります。
2. 40℃以上の温水を給水しないでください。
 - ◆ 40℃以上の水を給水した場合、ポンプが壊れる恐れがあります。
3. 自家水道で井戸水などを使用する場合は、別売のフィルターを使用してください。また、ため水などを吸い上げて使用する場合は、別売の自吸用ホースセットを使用してください。
 - ◆ フィルターや自吸用ホースセットを使用しないと異物が混入し、故障の原因になります。
4. 本体は水平で安定した場所に設置してください。また、必ず地面に置き、高い所に置かないでください。
 - ◆ 不安定な所や高い所に置くとモーターの振動で本体が倒れたり、落下したりする恐れがあります。
5. ロータリージェットノズルは、車の塗装面、タイヤなど強度の弱い物には使用しないでください。
 - ◆ ロータリージェットノズルは洗浄力が高いため、対象物を破損する恐れがあります。
6. 洗浄物に貼られているラベル類周辺への直射は避けてください。
 - ◆ 高圧水によりラベルが剥がれる恐れがあります。
7. 5℃以下になる場所には保管しないでください。
 - ◆ 本体が凍結し、故障の原因になります。

本製品について

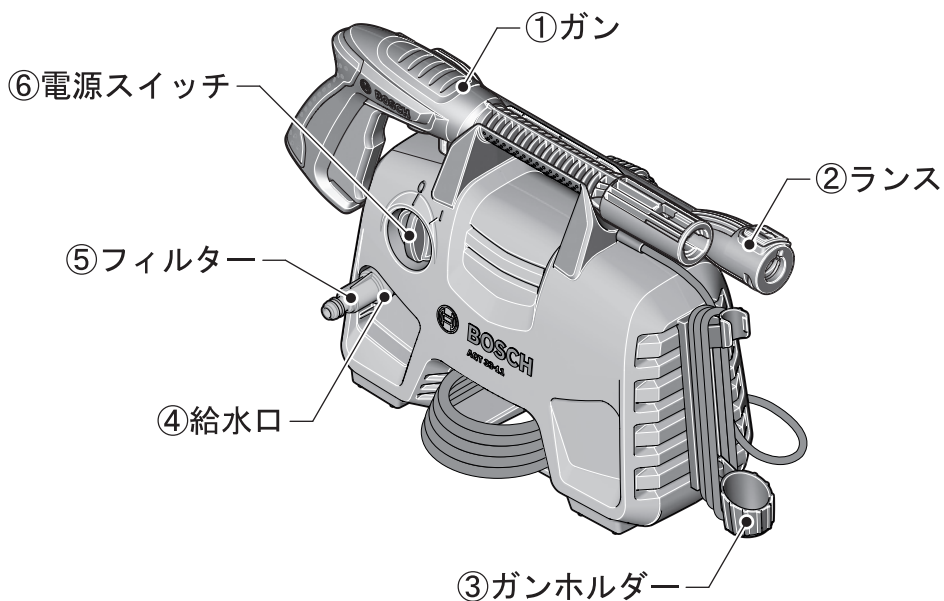
用途

- ◆ 自転車、バイク、車などの洗浄や泥落とし
- ◆ 家の外壁、ガーデンチェアなどの泥落とし など

※ 本製品は、ご家庭での使用を想定した製品です。

本製品について

各部の名称



◆ イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

仕様

型番	AQT 33-11
電源	単相 AC100V, 50/60Hz
消費電力	1300W
最大吐出水量	330L/h
最大許容圧力	10.5MPa
最高給水温度	40℃
水道ホース内径	15mm
電源コード長さ	5m
本体寸法	高さ 290×幅 380×奥行 155mm
振動 3軸合成値	4m/s ² 、k=1.5m/s ² (EN60335-2-79 に準拠)
音圧レベル	85dB(A)、k=3dB (EN60335-2-79 に準拠)
音響パワーレベル	94dB(A)、k=3dB (EN60335-2-79 に準拠)
質量	3.8kg (本体のみ)
原産国	中国

つ本
製
い
品
てに



警告

◆ 防音保護具を着用してください。

安全装置

安全ロック機構付きガン

ガン④には安全ロック機構が付いています。安全ロック解除ボタンを押さないとレバーを引き込めません。

温度センサー

温度センサーによりモーターの過負荷を防ぎます。温度センサーの温度が下がるとモーターが再始動します。

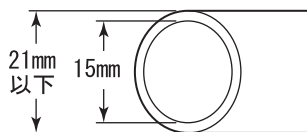
圧力安全装置

水圧安全弁により過剰圧力から高圧洗浄機を保護します。

ガンのレバーを離しているときは、安全弁保護機能が自動で働きます。

使用可能水道ホース

内径 15mm
外径 21mm 以下
糸入り耐圧タイプ



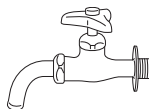
使用可能蛇口

内径 15mm の水道ホースが取り付けられる一般的な丸蛇口で使用できます。

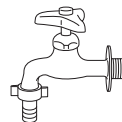
本
製
品
に



横水栓



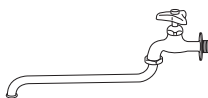
万能水栓



カップリング付き横水栓



散水栓



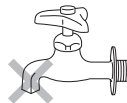
自在水栓

下記の蛇口は使用できません。

例)



ホースを差し込む部分が短く、ホースバンドが使用できない蛇口



四角い蛇口



ねじ式の蛇口

※この他にもご使用いただけないタイプの蛇口がありますのでご注意ください。

ジェットノズル



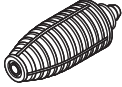
ランス



ガン



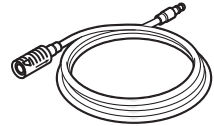
ロータリージェット
ノズル



フォームノズル



延長高圧ホース (別売)

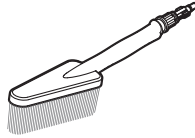


つ本
製
い
品
てに

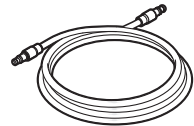
テラスクリーナー (別売)



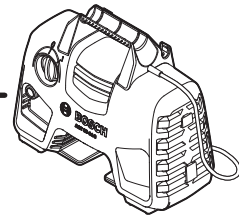
ブラシノズル (別売)



高圧ホース



本体



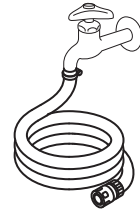
90° 変換ノズル (別売)



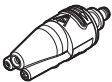
フィルター



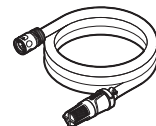
水道ホース



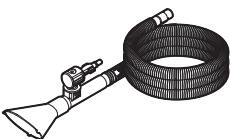
3in1 ノズル (別売)



自吸用ホースセット (別売)

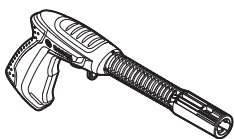


排水ホースセット (別売)

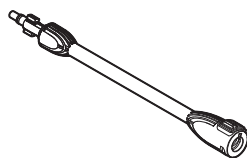


標準付属品

本
製
品
に
つ
い
て



ガン



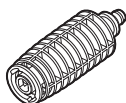
ランス



ガンホルダー



フィルター



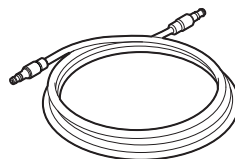
ジェットノズル



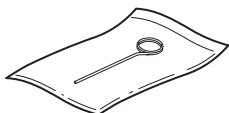
ロータリージェットノズル



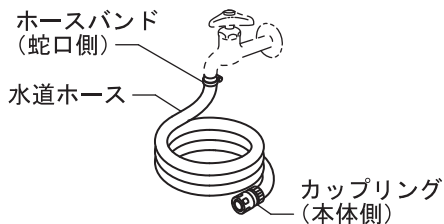
450ml フォームノズル



高圧ホース (6m)

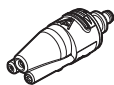


ノズルクリーナーピン



水道ホース (3m)

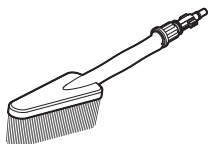
- ◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。
- ◆水道ホース以外は、別売アクセサリーとしてもお買い求めいただけます。



3in1 ノズル



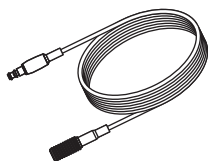
90° 変換ノズル



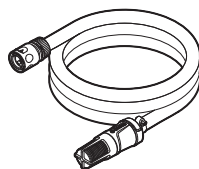
ブラシノズル



テラスクリーナー

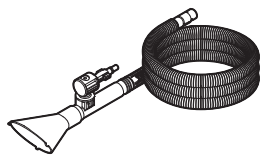


延長高圧ホース (6m)



自吸用ホースセット (3m)

逆止弁付き自吸用ホース
タンクやバケツなどのため水を吸い上げ
ます。ため水吸い上げ高さ（ホース吸水
部から本体までの高さ）は 50cm です。



排水ホースセット

水たまりやビニールプールの水などを吸
い込み、排水溝などに排出することがで
きます。

つ本
製
い
品
てに

◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

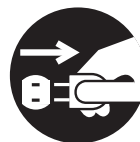
使い方

作業前の準備をする

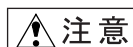


警告

- ◆ 作業前の準備をするときは、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- ◆ 電源コードや電源プラグが損傷しているときは、直ちに使用を中止してください。お買い求めの販売店または、ボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。



使い方



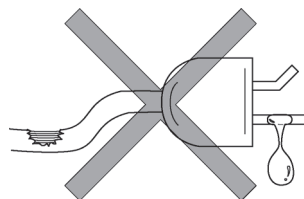
注意

- ◆ 高圧洗浄機本体は水平な地面に置いてください。



使用電源を点検する

- 単相 AC100V (50/60Hz) か？
- 電源コンセント不良（ガタ）のため、電源プラグが簡単に抜けないか？
- 電源コードが断線していたり、電源プラグが破損していないか？

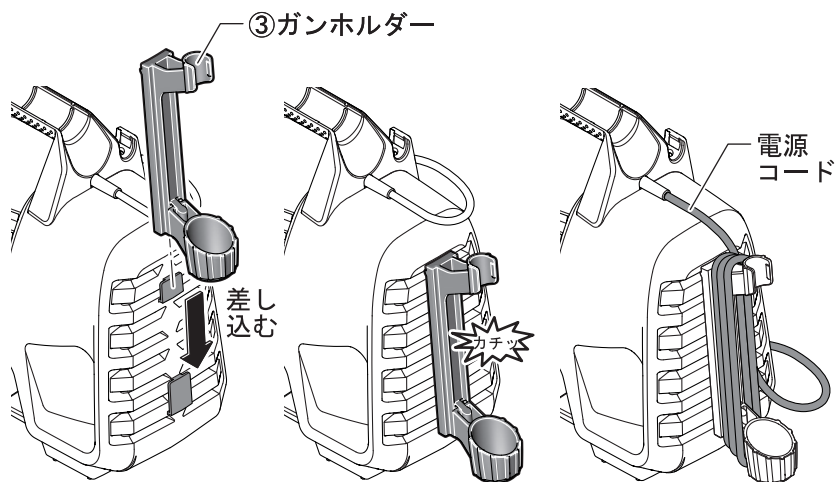


● ガンホルダー③を本体に取り付ける

本体にガンホルダー③を取り付けます。

本体側面にあるフックの上方からガンホルダー③を差し込み、“カチッ”と音がするまで押し込みます。

👉 高圧洗浄機を使用しないときは、電源コードをガンホルダー③に巻いておきます。

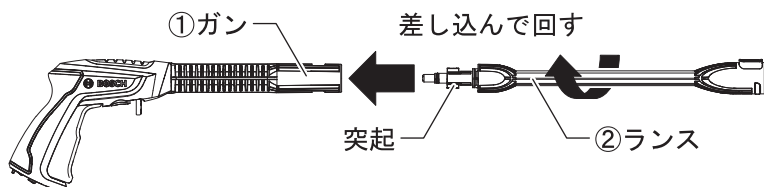


使
い
方


● ランス②を取り付ける・取り外す

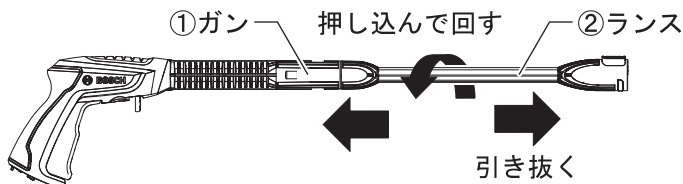
取り付け

1. ガン①のランス取り付け口の溝と、ランス②の突起を合わせて、ランス②をガン①に差し込みます。
2. ランス②をガン①に押し込み、矢印の方向に回して固定します。
👉 ガン①とランス②の隙間がなくなるまで押し込まないと、ランス②を回すことができません。奥までしっかり押し込んでください。
3. ランス②を引いて、抜けないことを確認します。



取り外し

1. ランス②をガン①に押し込み、矢印の方向に回します。
 ガン①とランス②の隙間がなくなるまで押し込まないと、ランス②を回すことができません。奥までしっかり押し込んでください。
2. ガン①からランス②を引き抜きます。



● 高圧ホースを取り付ける・取り外す

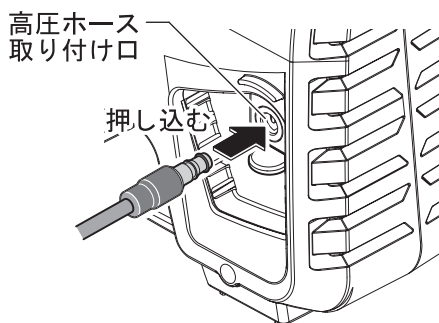


警告

- ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、高圧ホースを取り付けたり、取り外したりするときは、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

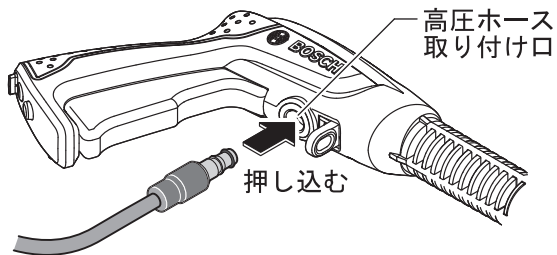
取り付け

1. 本体に高圧ホースを取り付けます。
 - 1) 高圧ホース先端の一方を、高圧ホース取り付け口に“カチッ”と音がするまで押し込む。



- 2) 高圧ホースを軽く引いて、抜けないことを確認する。

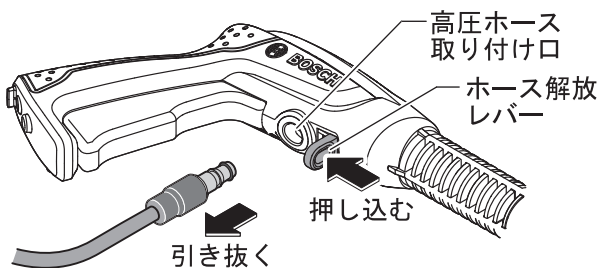
2. ガン①に高圧ホースを取り付けます。
 - 1) 高圧ホース先端のもう一方を、ガン①の高圧ホース取り付け口に“カチッ”と音がするまで押し込む。



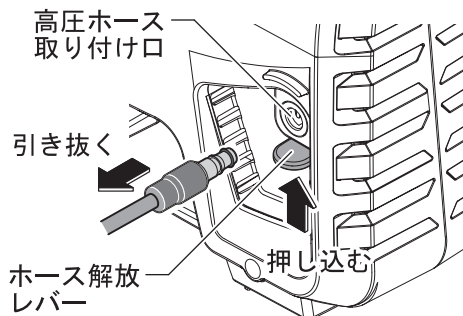
- 2) 高圧ホースを軽く引いて、抜けないことを確認する。

取り外し

1. ガン①から高圧ホースを取り外します。
ホース解放レバーを高圧ホース取り付け口側に押し込んで保持し、高圧ホースをガン①から引き抜いてください。



2. 本体から高圧ホースを取り外します。
ホース解放レバーを高圧ホース取り付け口側に押し込んで保持し、高圧ホースを本体から引き抜いてください。



延長高圧ホース（別売アクセサリ）を使用する

取り付け

1. 本体に高圧ホース先端の一方を“カチッ”と音がするまで押し込みます。
2. 高圧ホース先端のもう一方を延長高圧ホースのジョイントに“カチッ”と音がするまで押し込みます。
3. 延長高圧ホースの先端をガン①の高圧ホース取り付け口に“カチッ”と音がするまで押し込みます。

取り外し

1. ガン①から延長高圧ホースを取り外します。
2. 延長高圧ホースのジョイント部を矢印の方向に引き込み、延長高圧ホースから高圧ホースを抜きます。
3. 本体から高圧ホースを取り外します。

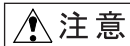
使
い
方

● 水道ホースを取り付ける・取り外す



警告

- ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、水道ホースを取り付けたり、取り外したりするときは、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

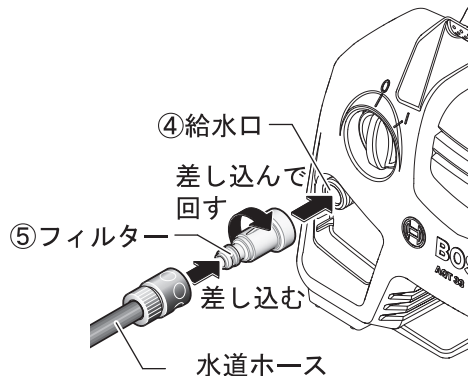


注意

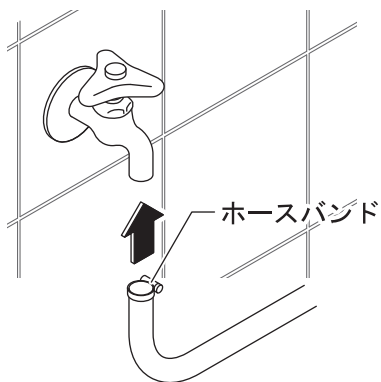
- ◆ 水道ホースを取り付けたり、取り外したりするときは、水道栓を開けてください。

取り付け

1. 本体の給水口④にフィルター⑤を取り付けます。
フィルター⑤を給水口④にまっすぐ差し込み、矢印の方向に回して締め付けます。



2. フィルター⑤に水道ホースを接続します。
水道ホースのカップリングを、“カチッ”と音がするまでフィルター⑤に押し込みます。
☞ カップリングがしっかり押し込まれていないと、水が通りません。
3. カップリングを軽く引いて、抜けないことを確認します。
4. 水道ホースのもう一方に付属のホースバンドを取り付け、水道ホースを水道の蛇口にしっかり固定します。
☞ 水道ホースを蛇口にしっかり固定しないと、作業中に水道ホースが外れたり、水漏れしたりする恐れがあります。



使
い
方

取り外し

1. 蛇口から水道ホースを取り外します。
2. 本体側に接続したカップリングのリングをホース側に引き込んで、水道ホースを抜きます。

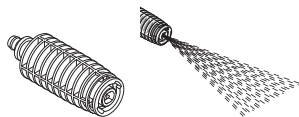
ノズルを取り付ける・取り外す



- ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、ノズルを取り付けたり取り外したりするときは、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

● 各種ノズルの特徴と用途

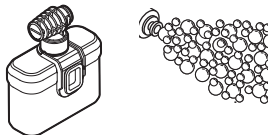
ジェットノズル



特徴：扇状の水流を噴射します。


用途：外壁、車体、自転車、網戸など幅広い洗浄に適しています。

450ml フォームノズル

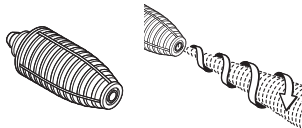


特徴：洗浄剤を混ぜた水を噴射できます。

用途：車体などの洗浄に適しています。


 高圧洗浄機用の洗浄剤（市販品）を使用してください。

ロータリージェットノズル



特徴：高圧水が回転しながら噴射され、パワフルな洗浄ができます。

用途：石畳などの頑固な汚れに適しています。

 ロータリージェットノズルは、非常に強い圧力で噴射されます。壊れやすいものや、車の塗装面などの洗浄には使用しないでください。

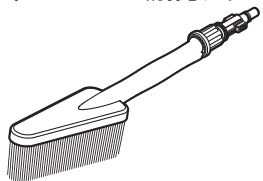
90° 変換ノズル（別売アクセサリ）



特徴：水の噴射角度を 90° にします。

用途：車の下や雨どいなどの洗浄に適しています。

ブラシノズル（別売アクセサリ）



特徴：ブラシで汚れを取りながら、水で洗い流せます。

用途：車窓などの洗浄に適しています。

テラスクリーナー（別売アクセサリー）



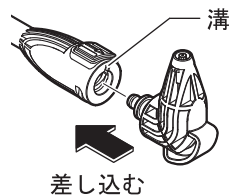
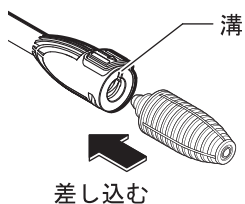
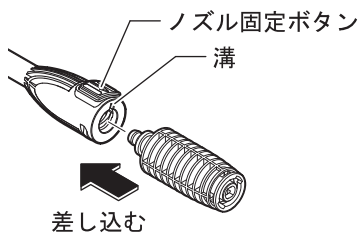
特徴：床をこすりながら、水を飛び散らせずに洗浄できます。

用途：テラスや床などの洗浄に適しています。

● ジェットノズル、ロータリージェットノズル、90° 変換ノズル

取り付け

1. ノズルの突起をランス②の溝に合わせ、“カチッ”と音がするまでしっかり奥まで押し込みます。



2. ノズルを引いて、抜けないことを確認します。

取り外し


「ノズル固定ボタン」を押し込んで保持し、ノズルを引き抜きます。

● 450ml フォームノズル



警告

- ◆ 高圧洗浄機用の洗浄剤（市販品）を使用してください。
- ◆ 洗浄剤の説明に記載されている希釈倍率を守ってください。

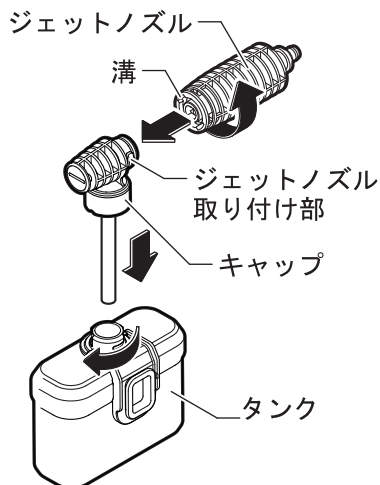
 環境保護のため、洗浄剤は控えめに使用してください。

取り付け

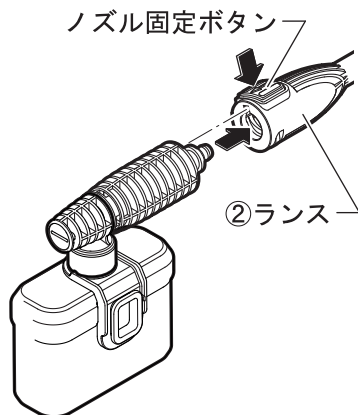
1. 450ml フォームノズルのタンクに、洗浄剤を入れます。



2. キャップのジェットノズル取り付け部の突起とジェットノズルの溝を合わせて差し込み、ジェットノズルを矢印の方向に回して取り付けます。しっかり止まるまで回してください。
3. 450ml フォームノズルのタンクにジェットノズルを取り付けたキャップを取り付けます。キャップは矢印の方向に回して、しっかり閉めてください。



4. ジェットノズルの突起をランス②の溝に合わせ、“カチッ”と音がするまでしっかり奥まで差し込みます。
5. ジェットノズルを引いて、抜けないことを確認します。



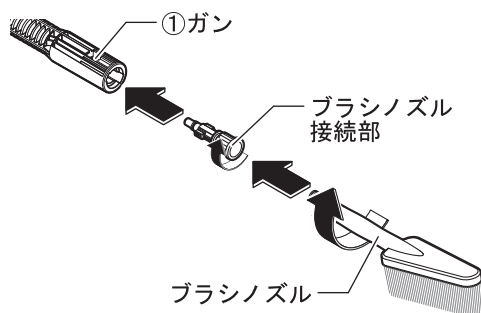
取り外し

1. 「ノズル固定ボタン」を押し込んで保持します。
2. ジェットノズルを引き抜きます。
3. 450ml フォームノズルのタンクのキャップからジェットノズルを取り外します。
4. 450ml フォームノズルのタンクからキャップを取り外します。
5. 450ml フォームノズルのタンクに残っている洗浄剤を捨てます。
6. タンク内を洗浄します。
7. タンクに水を入れます。
8. 取り付けの2～5項の手順で450ml フォームノズルを取り付けます。
9. 32ページ「作業する」の手順に従って水を噴射させ、ノズルを洗浄します。
10. 上記1～4項の手順でキャップを取り外し、タンク内の水を捨てます。
11. タンク内を乾燥させます。
12. キャップを取り付けます。

● ブラシノズル

取り付け

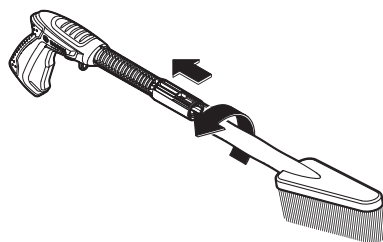
1. ガン①にランス②が取り付けられているときは、取り外します。
2. ガン①の溝と、ブラシノズル接続部の突起を合わせて、ブラシノズル接続部をガン①に差し込みます。



3. ブラシノズル接続部をガン①に押し込み、矢印の方向に回して固定します。
☞ ガン①とブラシノズル接続部の隙間がなくなるまで押し込まないと、ブラシノズル接続部を回すことができません。奥までしっかり押し込んでください。
4. ブラシノズル接続部を引いて、抜けないことを確認します。
5. ブラシノズル接続部にブラシノズルをしっかり奥まで押し込み、矢印の方向に回して締め付けます。
6. ブラシノズルを引いて、抜けないことを確認します。

取り外し

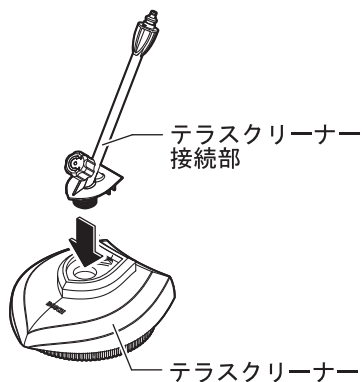
1. ブラシノズル接続部をガン①に押し込み、反時計方向に回します。
☞ ガン①とブラシノズル接続部の隙間がなくなるまで押し込まないと、ブラシノズル接続部を回すことができません。奥までしっかり押し込んでください。
2. ガン①からブラシノズル接続部を引き抜きます。



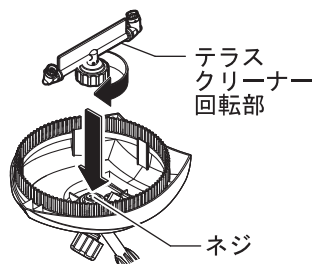
● テラスクリーナー

取り付け

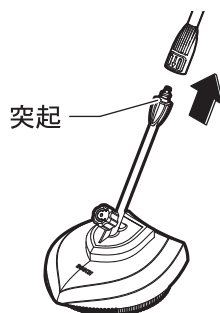
1. テラスクリーナー先端部に、テラスクリーナー接続部を差し込みます。



2. テラスクリーナー先端部を裏返します。
3. テラスクリーナー接続部のネジ部分に、テラスクリーナー回転部を合わせ、矢印の方向に回して固定します。



4. テラスクリーナー接続部の突起をランスの溝に合わせ、“カチッ”と音がするまでしっかり奥まで差し込みます。



5. テラスクリーナーが、抜けないことを確認します。

取り外し

1. 「ノズル固定ボタン」を押し込んで保持します。
2. テラスクリーナーを引き抜きます。

作業する



警告

- ◆ 噴射口を人や動物に向けないでください。
- ◆ テラスクリーナー回転部が回転しているとき、回転部に手や顔などを近づけないでください。
- ◆ 延長コードは、15A 仕様の規格品を使用し、10m以上延長しないでください。導体公称断面積 2.0mm²のものをお薦めします。
- ◆ 水流で物の破片が飛んだときなどにけがをしないよう、作業に適した服装で作業してください。また、目を保護するため保護めがねなどを着用してください。



注意

- ◆ 定格連続使用時間は約 1 時間です。
1 時間使用後は電源を切り、本体の熱が下がるまで 1 時間以上本体を休ませてください。
- ◆ 作業を一時中断するときは、必ず「電源スイッチ⑥」を“切（○）”にしてください。
“切（○）”にしないと、モーターが自動で再始動することがあります。
- ◆ 水道ホースや高圧ホースは、巻いたまま使用しないでください。必ず伸ばして使用してください。
- ◆ 水道ホースが外れたときは、直ちに「電源スイッチ⑥」を“切（○）”にしてください。
- ◆ 本体に水を供給しない状態で始動しないでください。ポンプやモーターが破損します。
- ◆ 高圧ホースを張りすぎたり、高圧ホースを引っ張って本体を移動させたりしないでください。本体が倒れる恐れがあります。
- ◆ 高圧ホースを折り曲げたり、車で踏んだりしないでください。また、鋭利な角などに当たらないようにしてください。
- ◆ ロータリージェットノズルは非常に強い圧力で噴射されます。壊れやすいものや、車の塗装面などの洗浄には使用しないでください。



テラスクリーナーは、平らな床面の清掃に使用してください。

階段や壁面などの洗浄には使用しないでください。



洗浄剤を使用して洗浄するときは、最初に 450ml フォームノズルで汚れを落とし、その後高圧水で洗い流してください。



垂直な面を洗浄するときは、下から上に向かって洗浄剤を吹き付け、上から下に向かって洗い流すと、効率よく作業できます。



水道ホースの代わりに自吸用ホースセット（別売アクセサリ）を本体に接続すると、自然水源やタンクなどの水を使用することができます。（36 ページ「ため水を使用して洗浄する」を参照）

1 電源プラグを電源コンセントに差し込む



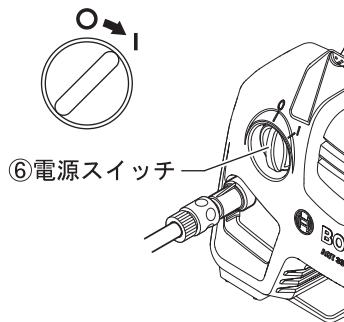
- ◆ 感電防止のため、電源プラグを電源コンセントに差し込むときは、絶対にぬれた手で差し込まないでください。
- ◆ 「電源スイッチ⑥」が“切（○）”になっていることを確認してから電源プラグを差し込んでください。

2 水道の蛇口を全開にする

3 「電源スイッチ⑥」を“入（I）”にする

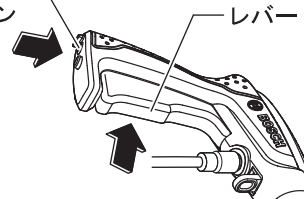


- ◆ ガン①のレバーが引き込まれていないことを確認してから、“入（I）”にしてください。



4 ガン①の安全ロック解除ボタンを押す

安全ロック
解除ボタン



5 噴射口を下に向けてガン①のレバーを引き込む

水圧が安定するまで（目安として約 10～20 秒）噴射口を下に向けて噴射してください。



- ◆ ガン①とランス②をしっかりとってからレバーを引き込んでください。
- ◆ 周りに人や動物がいないこと、機械などがいないことを確認してから噴射してください。

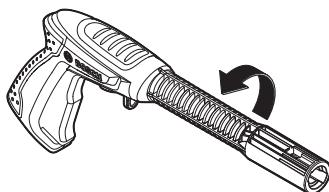
6 対象物に、噴射口を向けて洗浄する



- ◆ 対象物に適した距離で洗浄してください。また、対象物に損傷が生じる恐れがある場合は、目立たない場所で試してから洗浄してください。
- ◆ 最初はノズルからの距離を離して洗浄し、様子を見ながら近づけて洗浄するなど慎重に作業してください。
近づけすぎた場合、破損などの原因になります。
- ◆ 車の塗装面、タイヤ、タイヤバルブなどを洗浄するときは、ノズル先端から最低 30cm 以上離して洗浄してください。
接近しすぎると、塗装が剥がれたりタイヤを損傷したりし、重大事故の原因になる恐れがあります。

使
い
方

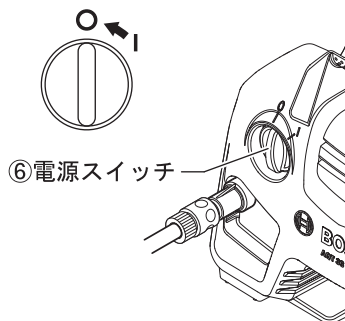
ガン①のノズルを矢印の方向に回すと、噴射口を使いやすい向きに変えることができます。



7 洗浄が終わったら、レバーを離す

ガン①のレバーを離すとモーターが自動で停止します。
再度レバーを引き込むと再始動します。

8 「電源スイッチ⑥」を“切（○）”にする



9 電源プラグを電源コンセントから引き抜く



- ◆ 感電防止のため、ぬれた手で電源プラグを電源コンセントから抜かないでください。

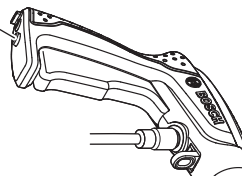
10 水道の蛇口を閉める

11 ガン①のレバーを引き込む

ガン①のレバーを引き込み、本体内の水を抜きます。
噴射口から水が出なくなるまでレバーを引き続けてください。
水が出なくなったら、レバーから手を離します。

12 ガン①の安全ロックボタンを押す

安全ロック
ボタン



13 水道ホースを本体から取り外す

24 ページ「水道ホースを取り付ける・取り外す」参照

14 高圧ホースを本体から取り外す

22 ページ「高圧ホースを取り付ける・取り外す」参照

ため水を使用して洗浄する

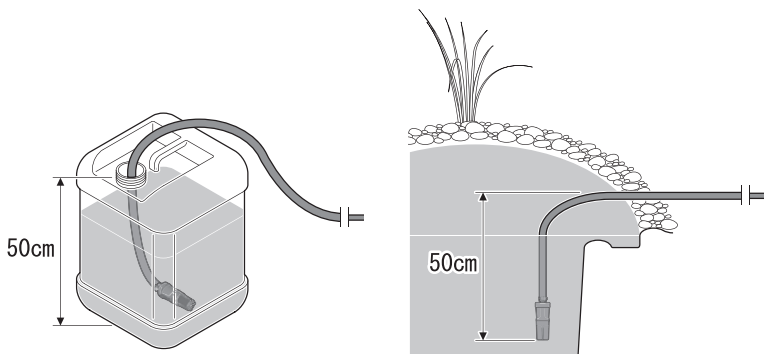
水道ホースの代わりに自吸用ホースセット（別売アクセサリー）を本体に接続すると、自然水源やタンクなどの水を使用することができます。

注意 ◆ 清潔な水であることが重要です。汚れた水は使用しないでください。

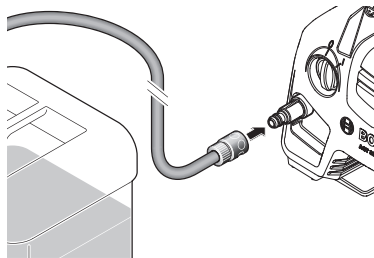
1. フィルター⑤が汚れていないか確認します。
汚れているときは、交換してください。
2. 高圧ホースの接続を確認します。
高圧ホースは、本体にだけ接続し、ガン①からは取り外してください。
3. 自吸用ホースが入る大きさの容器（たらいやバケツなど）を用意し、水をためます。
4. 水をためた容器に、自吸用ホースを沈めます。
自吸用ホース内の空気を完全に抜いてください。



5. 自吸用ホース内の水が抜けないようにしながら、自吸用ホースを水から引き上げ、自吸用ホースの吸い込み口（サクションフィルター）を使用する水の中に入れます。
ホースが約 50cm 沈むくらいまで、水に入れてください。



6. 自吸用ホース内の水が抜けないようにしながら、自吸用ホースのカップリング側を、フィルター⑤に“カチッ”と音がするまで押し込みます。

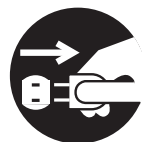


7. 電源プラグを電源コンセントに差し込みます。
8. 高圧ホースの先端を持ち、「電源スイッチ⑥」を“入（I）”にします。
9. 高圧ホースから水が噴出されることを確認します。
25秒経過しても、水が噴出されない場合は、最初からやり直してください。
10. 「電源スイッチ⑥」を“切（O）”にします。
11. 高圧ホースの先端をガン①に取り付けます。
12. 32ページ「作業する」の3項以降の手順に従って、洗浄を始めます。

お手入れと保管



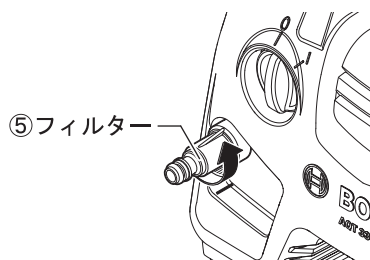
- ◆ お手入れのときは、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。



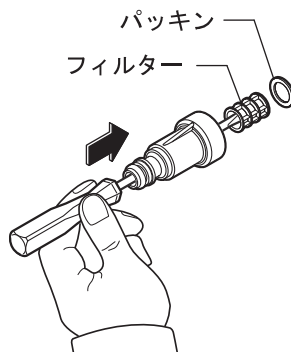
フィルターの清掃

フィルター⑤の清掃は、作業終了後に毎回行ってください。
洗っても汚れが落ちないときは、新品と交換してください。

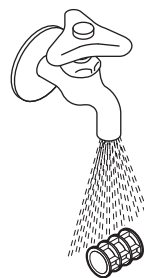
1. フィルター⑤を矢印の方向に回して、本体の給水口④からフィルター⑤を取り外します。



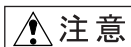
2. フィルター⑤の先端からドライバーなど細い棒状のものを差し込み、フィルター⑤内のフィルターとパッキンを押し出します。



3. 取り外したフィルターを、流水で洗います。
4. フィルターとパッキンをよく乾燥させます。
5. 取り外したフィルターとパッキンをフィルター⑤に差し込み、パッキンでしっかり止めます。



長期間使用しないとき、または冬季の保管

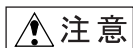


◆ 本体や付属品は、ホコリのかぶらない、凍結しない室内に保管してください。

5°C以下にならない場所に保管することをお勧めします。

1. 「電源スイッチ⑥」を“入（I）”にしたままの状態、水道の蛇口を閉めます。

2. ガン①のレバーを数秒間引き込み、ポンプ内の水をすべて排出します。



◆ ノズルから水がほとんど出なくなったら、直ちにガン①のレバーから手を離してください。水が排出されない状態でレバーを引き込み続けると、ポンプが破損します。

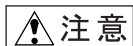
3. 「電源スイッチ⑥」を“切（O）”にします。

4. 電源プラグを電源コンセントから抜きます。

5. 本体から高圧ホースを取り外します。

6. 高圧ホースを巻きながら、時々ガン①のレバーを引き込み、高圧ホース内に残った水を排出します。

7. 給水口④から水道ホースを取り外します。



◆ 水道ホースは、中にたまった水を抜き、よく乾燥させてください。ホース内に水が残った状態で保管すると、ホース内にカビやコケが生えたりすることがあります。

8. 本体の給水口④を下に傾けて、本体内に残った水を排出します。

9. 高圧洗浄機本体やホースなどの水気、汚れを乾いた柔らかい布で拭き取ります。

10. 直射日光の当たらない、風通しのよい場所で乾燥させます。

11. 清掃し、よく乾燥させたフィルター⑤を本体の給水口④に取り付けます。

保
お
手
入
れ
と
管

12. 5℃以下にならない、ホコリのかぶらない室内に保管します。

注意

- ◆ 排水が不完全な場合は、ポンプが凍結し破損します。凍結した状態でスイッチを入れると、モーターが破損します。
- ◆ 保管するときは、高圧ホース、水道ホースを本体から取り外してください。
- ◆ ホコリのある場所に保管する場合は、給水口④にホコリや細かいごみが入らないように保護してください。
- ◆ ポンプ内にごみが混入した場合、本体が正常に作動しなくなります。
- ◆ 高圧ホースを取り外すとき、水がかかることがありますので注意してください。

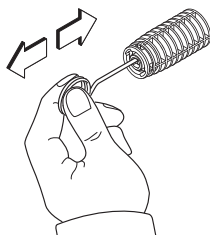
ノズルの清掃

定期的に、ノズルの清掃を行ってください。

警告

- ◆ ノズルの清掃をするときは、ノズルをランス②から取り外してください。

ノズルクリーナーピンをノズルの穴に差し込み、掃除してください。



収 納

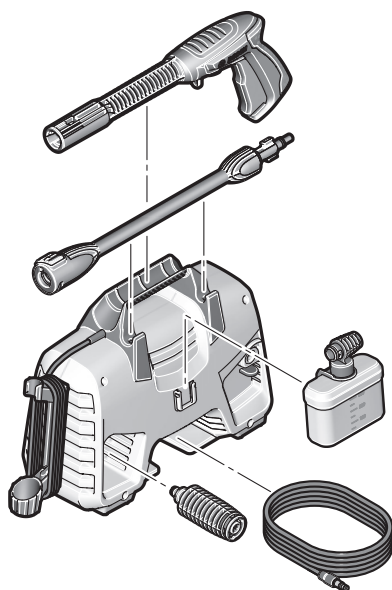
ガン①とランス②は、取り外した状態で本体上部に収納できます。
ジェットノズルは、本体後面左下に収納できます。
450ml フォームノズルは、本体後面のホルダーに引っ掛けられます。

高圧ホースは、束ねて本体下部に収納できます。

- ☞ 高圧ホースを束ねるとき、無理に折り曲げたりしないでください。
ホースが破損する原因になります。
- ☞ 延長高圧ホースは、一緒に収納しないでください。
無理に入れると、ホースが破損する原因になります。

電源コードは、ガンホルダー③に巻きつけてください。

- ☞ 保管時に電源コードを踏んだり挟んだりしないようにしてください。



保
お
手
入
れ
と
管

困ったときは

故障かな？と思ったら

- ① 『取扱説明書』を読み直し、使い方に誤りがないか確かめます。
- ② 次の代表的な症状が当てはまるかどうか確かめます。

症 状	原 因	対 処
ガン①のレバーを引いても作動しない	電源プラグが電源コンセントに差し込まれていない	電源プラグを電源コンセントに差し込む
	電源コンセントが故障している	別の電源コンセントを使用する
	「電源スイッチ⑥」が“入（I）”になっていない	「電源スイッチ⑥」を“入（I）”にする
	ブレーカーまたはヒューズが飛んでいる	ブレーカーまたはヒューズを復旧する
	延長コードが破損している	延長コードを交換する
	モーターがオーバーヒートしている	①本体の「電源スイッチ⑥」を“切（O）”にする ②電源プラグを電源コンセントから抜く ③15分程本体を冷ます ④再度電源を入れて、作業する
モーターが止まった	凍結している	ポンプ、ホース、ノズルなどが解凍するのを待つ
	ブレーカーまたはヒューズが飛んでいる	ブレーカーまたはヒューズを復旧する
	電源電圧が仕様と合っていない	仕様に合った電源電圧を使用する
ブレーカーまたはヒューズが飛んだ	モーターがオーバーヒートしている	①本体の「電源スイッチ⑥」を“切（O）”にする ②電源プラグを電源コンセントから抜く ③15分程本体を冷ます ④再度電源を入れて、作業する
	ブレーカーまたはヒューズが飛んだ	本機の消費電力に合ったブレーカーまたはヒューズにする

症 状	原 因	対 処
モーターから音がする が始動しない	電源電圧が低い	AC100V の電源を使用する
	延長コードにより電圧を損失している可能性がある	延長コードの仕様を確認する
	長期間使用していない	ボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼する
	本体システムに異常がある	ボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼する
水が出ない	水道の蛇口を全開にしていない	水道の蛇口を全開にする
	水道ホースのカップリングの押し込みが不十分	水道ホースのカップリングを本体にしっかりと押し込む
	フィルターが詰まっている	フィルターを清掃する
	ノズルが詰まっている	ノズルクリーナーピンを使用して、ノズルのごみを取り除く
圧力が安定しない	ノズルが詰まっている	ノズルクリーナーピンを使用して、ノズルのごみを取り除く
	本体、高圧ホース、水道ホースの中に空気がたまっている	圧力が安定するまでガン①のレバーを引き込み、水を出す
	フィルターが詰まっている	フィルターを清掃する
	水量が足りない	水道の蛇口を全開にする
	水道ホースが規格と合っていない	水道ホースを規格品と交換する
	ホースが折れ曲がったり、巻かれたりしている	ホースを伸ばす
	高圧ホースが長すぎる	7m 以下の延長高圧ホースを使用する
本体の動きは正常だが、 圧力が低い (圧力が低いノズルもあります)	ノズルが破損している	ノズルを交換する
	バルブが破損している	ガン①のレバーを 5 回程度引き込んだり、離したりする
	ノズルが詰まっている	ノズルクリーナーピンを使用して、ノズルのごみを取り除く
勝手に作動する	ポンプやガン①から水漏れしている	ボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼する
本体から水漏れする	ポンプから水漏れしている可能性がある	数滴の水漏れであれば、問題ありません。多量に漏れる場合はボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼する

困ったときは

修理を依頼するときは

- ◆ 『故障かな?と思ったら』を読んでもご不明な点があるときは、お買い求めの販売店または弊社コールセンターフリーダイヤルまでお尋ねください。
- ◆ 修理を依頼されるときは、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターにご相談ください。
- ◆ この製品は厳重な品質管理体制の下に製造されています。万一、本取扱説明書に書かれたとおり正しくお使いいただいたにもかかわらず、不具合（消耗部品を除きます）が発生した場合は、お買い求めの販売店または、ボッシュ電動工具サービスセンターまでご連絡ください。

弊社で現品を点検・調査のうえ、対処させていただきます。お客様の使用状況によって、修理費用を申し受ける場合があります。あらかじめご了承ください。

コールセンターフリーダイヤル ☎ 0120-345-762

土・日・祝日を除く、午前9:00~午後6:00

※携帯電話からお掛けのお客様は、TEL. 03-5485-6161 をご利用ください。

コールセンターフリーダイヤルのご利用はできませんのでご了承ください。

ボッシュ株式会社ホームページ <http://www.bosch.co.jp>

ボッシュ電動工具サービスセンター

〒360-0107 埼玉県熊谷市千代 39

TEL 048-536-7171 FAX 048-536-7176

ボッシュ電動工具サービスセンター西日本

〒811-0104 福岡県糟屋郡新宮町の野 741-1

TEL 092-963-3486 FAX 092-963-3407

ポッシュ電動工具保証書

品名	高圧洗浄機
型式	AQT 33-11
製造番号	※1
保証期間	お買上げ日より1年間
お買上げ日	年 月 日

※1 製造番号は本体のラベルに表示されています。

販売店・住所・TEL・FAX

お客様	お名前
	ご住所 〒
	TEL FAX

本書は、記載内容の範囲で無料修理をさせていただくことをお約束するものです。
詳細は下記をご参照ください。

ポッシュ株式会社 電動工具事業部

〒150-8360 東京都渋谷区渋谷3-6-7

TEL 03-5485-6161

ポッシュ電動工具サービスセンター TEL 048-536-7171

ポッシュ電動工具サービスセンター西日本 TEL 092-963-3486

＜ 無料修理規定 ＞

- 取扱説明書、本体注意ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
- 無料修理をご依頼になる場合には、お買上げの販売店に商品と本書をご持参・ご提示いただき、お申しつけください。
- 保証期間内でも次の場合には原則として有料とさせていただきます。
 - 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷
 - お買上げ後の移動、輸送、落下などによる故障及び損傷
 - 火災、風水害、地震、落雷、その他天災地変、公害、煙害、異常電圧、指定外の使用電源などによる故障及び損傷
 - 工場でのライン作業等の連続長時間使用による故障及び損傷
 - 消耗部品（バッテリー等）が損耗し交換修理を要する場合
 - 本書のご提示がない場合
 - 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
- 故障ではない点検、調整。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is only valid in Japan.
- 本書は再発行をいたしませんので、大切に保管してください。

- ご転居等の場合の修理ご依頼先は、お買上げ販売店またはポッシュ電動工具サービスセンターにご相談ください。

※この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
従いましてこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などにつきましておわかりにならない場合は、お買上げの販売店またはポッシュ電動工具サービスセンターまでお問い合わせください。

修理メモ
